

クラス番号	908	担当教員名	横山 由香里
テーマ	患者、家族の「生」を考える — 当事者理解と支援 —		
ゼミナール概要			
目的、内容、方法等：			
病気を抱えた患者さん、ご家族、ご遺族は、生活していく上で様々な困難に直面します。 社会福祉に携わりたいと考えている方には、当事者の方々の「声」に耳を傾け、理解する力を身に付けていただきたいと思います。同じ病気の人でも、周囲の人との関係や持っている資源によって生活の状況は異なります。また、生き方や「大切にしたい」と思っているものは、一人ひとり異なっています。 支援が必要なのかどうか、どんな支援が役立つのかを考えるためには、当事者の方々について知ることがとても大切です。このゼミでは、当事者の方々に関する資料を読んだり、直接お話を伺ったりしながら、理解を深めていきます。また、問題を解決するために医療職や福祉職がどのような役割を担い連携しているのかを学びます。 ゼミは、グループワーク形式で行います。各グループで資料を探し、まとめて、グループ間で発表し合います。発表を聴くと、ゼミ生の中でも受け止め方や感じ方が異なるかもしれません。ぜひ、意見交流をしてください。 授業計画： （前期） ➤ 文献や資料から当事者の思いや問題を知る ➤ 当事者団体（患者会・家族会など）を訪問し、発表する （後期） ➤ 多職種連携に関する学習 ➤ グループごとに関心のあるテーマを自由に設定し、調査やフィールドワークなどを行う ➤ まとめと成果発表			
担当教員からのメッセージ			
私は難病の患者さんや東日本大震災で被災された方々の Quality of Life（生活の質・人生の質）について研究をしてきました。大変な状況にあっても、困難に対処し生きていく人々の力に心を動かされたことが何度もあります。福祉の世界は、人々の生きる営みに触れる領域であり、自分の生き方も変わってくるように思います。 ゼミでは、皆さんが「知りたいこと」「見てみたいこと」を応援したいと考えています。ゼミ生からの企画・提案は大歓迎です。皆さんと一緒に学びを深めていけたら幸いです。			